

日時：平成30年12月19日（木）

場所：大阪府立東大阪支援学校会議室

- (1) 校長挨拶 学校教育自己診断のアンケート結果を中心に協議する。  
学校経営計画に記載している、石切中学校との交流の様子も見学予定。
- (2) 報告 ③スパイダーの活用について  
担当首席より報告（報告者が出張予定の為、先に報告）  
小学部、中学部、高等部普通課程の運動機能に障がいのある児童、生徒対象に今年度2学期より導入した。来年度より本格的に取り入れていく予定。スパイダーを用いることで、空間における身体の位置を知覚することが可能になる。身体の動かし方を試行錯誤することで、運動の多様性や、より効率的な運動を選択していく過程を自己学習できる。  
保護者より期待の声もある。
- (意見) 以前は肢体不自由校には温水プールがある学校が多かった。自分で重心をとる感覚を身につけることがスパイダーの良い所。西日本を中心に取り入れられている。
- (3) 協議事項 教頭より報告
- ① 学校教育自己診断 保護者アンケートの集計結果について
- (4) いじめに関して 「わからない」との答えが多い  
小・中・普通課程には答えにくい質問であった。
- (16) ボランティアについて 中学部・高等部生活課程で行っている  
今年度は新しいボランティア活動や図書を読み聞かせ活動も全校的に行っており、今後、より保護者に知ってもらえるように発信していく。
- (18) 進学や進級のときの引継ぎについて 地域の学校へも個別の支援計画の引継ぎをはたらきかけていく
- (21) HP について 今年度は修学旅行の様子をタイムリーに掲載した。  
支援部の取り組みについても掲載をはじめた。
- (23) PTA それぞれの係の活動を知らないことが多い。各係の広報を考えていく。
- ② 学校教育自己診断 教員アンケートの集計結果について
- (2) いじめに関して 「わからない」無回答があった。
- (9) 清掃活動について 授業や様々な場面で取り組まれているが、浸透していないのか疑問
- (25) 施設設備について 施設の老朽化が進む中、修理をしているが、予算の関係等で無理なものもある。
- (26) 情報機器について 授業等で活用している。

(教頭) 今回のアンケートの結果を踏まえ、関係部門で検討し、第3回学校運営協議会で報告する。

(校長) 学校経営計画については全体ではおおむね達成できている。第3回学校運営協議会で報告する。

(質問・意見)

○(委員) HP に関しては自分の子どもが出ていると見る保護者は多い。どのように掲載しているのか。

修学旅行の様子を掲載した時のパーセンテージは上がったのか。

(校長)

修学旅行時のカウント数は上がった。生徒の顔はわからないように掲載している。

○(委員) いじめに関しては、いじめ対策の具体的な学習などを保護者にアピールし、学校全体にいじめ防止の対策にむけて取り組んでいることをアピールしていくのが良い。

(委員) バスに乗車していることについても対応が必要である。

(教頭) バスでの事案についても担任が聞き取り、対応している。今年度はバスでのいじめの事案はなかった。

○(委員) ボランティアについて以前はボランティア便りが出ていた。お便りで周知できるのではないかな。

○(委員) 個別の教育支援計画、個別の指導計画に関して、教員の回答の「わからない」無回答はあってはならない。

#### (4) 報告

① 授業アンケートについて 教頭報告

回収率が低かった。4月の日曜参観でのアンケート実施について来年度検討していく

② 平成31年度教科書採択について

2部(小学部・高等部生活課程)で変更あり

(質問・意見)

○(委員) 授業アンケートという形では保護者が答えにくいのではないかな。

授業だけという形ではなく、子どもをいかにケアし、学校での活動に取り組んでいるのかという観点で保護者はみているのではないかな。

(委員) 子どもへの安全確認などの支援すべてを含めてみたい。

#### (5) その他

委員より合理的配慮に関する資料の配布あり

合理的配慮を地域で伝える活動をする中で、卒業後、懇談等の場で、本人が意思表示、自己決定できる力が必要と感じた。在学中から力をつけてほしい。

スパイダーに関して、学校にスパイダーがあることを知らない保護者もいる。

(6) 次回 第3回学校運営協議会  
平成31年2月14日(木) 予定